平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名　丸一鋼管株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　5463　URL　http://www.maruichikokan.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 鈴木 博之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 河村 康生　TEL 06-6531-1201

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	90,517	6.5	11,682	△6.1	13,385	△7.4	4,084	△50.0
23年3月期第3四半期	84,981	13.3	12,443	74.0	14,460	75.2	8,164	75.2

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△1,760百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　3,933百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	47.86	47.83
23年3月期第3四半期	94.14	94.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	241,575	209,516	83.6
23年3月期	258,572	218,511	81.3

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　201,885百万円　23年3月期　210,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	15.00	―	31.50	46.50
24年3月期	―	20.00	―		
24年3月期(予想)				26.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,300	3.9	14,800	△10.3	17,000	△8.7	5,900	△42.2	69.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	94,000,000 株	23年3月期	94,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	8,774,539 株	23年3月期	7,574,237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	85,345,645 株	23年3月期3Q	86,724,558 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報.... 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.... 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.... 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.... 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項.... 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.... 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.... 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.... 3
３．四半期連結財務諸表.... 4
(1) 四半期連結貸借対照表.... 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.... 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間.... 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間.... 7
(3) 継続企業の前提に関する注記.... 8
(4) セグメント情報等.... 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.... 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から回復しつつあるものの、欧州の債務危機、米国の景気低迷、アジアにおける新興国経済の減速など世界的な景気の停滞、円高や電力供給制限の長期化など、景気の先行きは不透明な状況で推移しています。

（日本）

国内事業につきましては、東日本大震災の影響で自動車向け需要が大きく落ち込んだものの、サプライチェーンが再構築されるに伴い徐々に回復が進み震災前のレベルに戻ってきていますが、建築向け需要は、リーマン・ショック前と比較すると本格的な回復には至らず、依然として低迷しております。一方、製品価格についても、高炉のコイル値上げ分の製品価格への転嫁を進めましたが、需要の弱さから値上げが浸透せず、逆に国際市況の値下がりや電炉製品の値下げの影響から、鋼管製品の市況も下落し、また円高による値下げ圧力も強く、厳しい状況となっております。

このような状況のなかで、国内事業につきましては、売上高は699億8千2百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は115億5千2百万円（前年同期比4.2%減）の結果となりました。

（北米）

北米事業につきましては、マルイチ・アメリカン・コーポレーション及びレビット・チューブ・カンパニーLLCにおいて、販売数量の増加及び製品価格の上昇により、売上高は96億3千8百万円（前年同期比26.3%増）と増加し、セグメント利益は7億4千2百万円（前年同期比54.5%増）と大幅に改善致しました。

（アジア）

アジア事業につきましては、サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー(SUNSCO社)において、販売数量の増加などにより売上高は108億9千6百万円（前年同期比10.5%増）と増加致しましたが、コスト増に加えてのれん代の償却負担もあり、セグメント損失は6億8百万円を計上致しました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における業績は、売上高は905億1千7百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は116億8千2百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益は133億8千5百万円（前年同期比7.4%減）、四半期純利益は、投資有価証券評価損37億9千3百万円の計上などにより40億8千4百万円（前年同期比50.0%減）となりました。

尚、対米ドル換算レートは1米ドル80円66銭であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は2,415億7千5百万円（前連結会計年度比169億9千6百万円の減少）となりました。

主な内容は、受取手形及び売掛金が11億3千2百万円増加しましたが、現金及び預金が35億6千万円、有価証券が24億8千3百万円減少したことにより、流動資産合計で41億1千6百万円減少しました。固定資産については、主として投資有価証券が株式の時価の下落などにより127億6千4百万円減少したことにより、固定資産合計で128億7千9百万円減少しました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は320億5千9百万円（前連結会計年度比80億1百万円の減少）となりました。

主な内容は、流動負債については、主として支払手形及び買掛金が23億9千2百万円、未払法人税等が12億1百万円減少したことにより、流動負債合計で52億2千6百万円減少しました。固定負債については、株式の時価評価に関わる繰延税金負債が23億8千5百万円減少したことにより、固定負債合計で27億7千5百万円減少しました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は2,095億1千6百万円（前連結会計年度比89億9千4百万円の減少）となりました。

主な内容は、その他有価証券評価差額金が43億7千8百万円減少したこと及び自己株式が23億5千2百万円増加（純資産の減少）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月８日に業績予想を修正しておりますが、自動車向け需要は円高の影響などが懸念され、また建材向け製品販売市況は本格的な回復には至らず、当面、厳しい状況が続くことが予想されることなどにより、業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しにつきましては、以下のとおりです。

（日本）

国内事業につきましては、自動車向けパイプの需要は回復してきていますが、円高の影響などが懸念される状況です。建築向け需要は、震災の復興需要もまだ本格的な状況には至らず、当面厳しい状況が続くと予想されます。また製品価格面においても、依然として厳しい状況が続きますが、販売量の確保と併せてコストの削減に努めてまいります。

（北米）

北米事業につきましては、販売数量の回復も遅く、それに伴いコイル及び製品価格も変動している状況ですが、新規設備の稼働により生産性を高め、コストの削減をはかり、品質の向上をより一層進め、競争力を強化してまいります。

（アジア）

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社においては市況の低迷やタイ洪水による輸出の停滞など厳しい状況が続いていますが、16インチパイプミルのAPI規格の取得に伴う新規市場の開拓などにより、販売の拡大と収益面の改善をはかってまいります。

尚、今後の予想に使用した対米ドル換算レートは1米ドル75円であります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,265	50,704
受取手形及び売掛金	29,616	30,748
有価証券	15,221	12,738
製品	7,135	7,966
原材料及び貯蔵品	14,081	14,749
その他	3,439	2,710
貸倒引当金	△250	△225
流動資産合計	123,509	119,392
固定資産		
有形固定資産		
土地	29,879	29,971
その他	35,036	35,249
有形固定資産合計	64,916	65,221
無形固定資産		
のれん	1,978	1,748
その他	1,933	1,647
無形固定資産合計	3,911	3,396
投資その他の資産		
投資有価証券	60,685	47,921
その他	5,633	5,719
貸倒引当金	△83	△75
投資その他の資産合計	66,235	53,565
固定資産合計	135,062	122,183
資産合計	258,572	241,575

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,164	11,772
短期借入金	5,616	5,408
未払法人税等	3,896	2,695
賞与引当金	852	441
役員賞与引当金	61	57
その他	4,357	3,347
流動負債合計	28,949	23,722
固定負債		
長期借入金	4,759	4,474
退職給付引当金	3,029	3,000
役員退職慰労引当金	55	35
繰延税金負債	2,580	194
その他	686	631
固定負債合計	11,111	8,336
負債合計	40,061	32,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	202,306	201,963
自己株式	△17,397	△19,750
株主資本合計	210,325	207,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,514	2,136
為替換算調整勘定	△6,543	△7,881
その他の包括利益累計額合計	△28	△5,745
新株予約権	76	91
少数株主持分	8,138	7,539
純資産合計	218,511	209,516
負債純資産合計	258,572	241,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
売上高	84,981	90,517
売上原価	64,996	70,673
売上総利益	19,985	19,844
販売費及び一般管理費	7,542	8,161
営業利益	12,443	11,682
営業外収益		
受取利息	108	150
受取配当金	953	1,207
持分法による投資利益	235	543
匿名組合投資利益	738	42
その他	767	721
営業外収益合計	2,803	2,664
営業外費用		
支払利息	180	131
為替差損	205	424
不動産賃貸費用	242	210
その他	157	195
営業外費用合計	786	961
経常利益	14,460	13,385
特別利益		
固定資産売却益	363	2
投資有価証券売却益	95	59
関係会社株式売却益	0	439
匿名組合清算益	1,713	482
その他	－	38
特別利益合計	2,173	1,023
特別損失		
固定資産除却損	45	31
投資有価証券売却損	796	－
投資有価証券評価損	185	3,793
その他	0	31
特別損失合計	1,029	3,856
税金等調整前四半期純利益	15,604	10,551
法人税等	6,444	6,234
少数株主損益調整前四半期純利益	9,160	4,316
少数株主利益	995	232
四半期純利益	8,164	4,084

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	9,160	4,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,719	△3,984
為替換算調整勘定	△2,082	△1,213
持分法適用による持分相当額	△425	△879
その他の包括利益合計	△5,226	△6,077
四半期包括利益	3,933	△1,760
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,585	△1,632
少数株主に係る四半期包括利益	347	△127

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,486	7,631	9,863	84,981	－	84,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	917	－	－	917	△917	－
計	68,403	7,631	9,863	85,899	△917	84,981
セグメント利益又は損失（△）	12,063	480	△70	12,474	△30	12,443

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△30百万円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,982	9,638	10,896	90,517	－	90,517
セグメント間の内部売上高又は振替高	81	－	－	81	△81	－
計	70,064	9,638	10,896	90,599	△81	90,517
セグメント利益又は損失（△）	11,552	742	△608	11,686	△3	11,682

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△3百万円はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成23年４月７日開催の取締役会において、会社法第459条第１項第１号の規定による定款の定めに基づく、自己株式の取得を決議し実施致しました。これにより、四半期連結貸借対照表の純資産の部の株主資本における自己株式が1,200千株、2,352百万円増加しております。